

経営協議会の学外委員からの意見を法人運営に反映した主な事例(平成24年度)

公開用	平成24年度対応状況
<p>「推薦入学の地域枠の検討について」 平成23年度第1回(H23.5.26)</p>	<p>平成23年度における検討を踏まえ、平成25年度推薦入学試験に「東日本大震災被災者特別選抜」を導入した。 これまで実施している推薦入学試験の推薦要件と同等のものほか、「被災地の教育復興を担う意志があること。」、「今回の深刻な震災の経験を、将来の教育職に活かせること。」、「教員になるための確かな基礎学力と学習意欲を有していること。」を推薦要件に加えた。 若干名の募集に対して初等教育教員養成課程及び特別支援教育教員養成課程に併せて14名の推薦があり、14名が入学した。</p>
<p>「特別経費「教員養成機能の充実」の有効活用」について 平成23年度第4回(H24.1.25)</p>	<p>教員養成機能の高度化や附属学校の機能強化など教員養成機能の充実に向けて、電子黒板19台、タブレット型端末161台(リース契約を含む)等のICT教育環境を整備した。これらの機器は各附属学校及び教職大学院教職実践研究室に設置し、授業実践を行う上で、ICTの効果的な活用方法の研究を進めることができた。 また、附属小学校・中学校では前期の教職大学院教育実習と後期の学部学生の教育実習において、ICT機器を活用した。学習指導におけるツールとしてICT機器を活用することにより、児童の学びを深める授業づくりの幅が広がることを理解させ、かつ、授業でのICT機器活用例を実習生に演示することができた。ICT機器を活用した授業を実践することで、実習生の機器活用に対する積極的な姿勢を涵養することができた。</p>
<p>「教員志望者への指導強化について」 平成22年度第3回(H23.1.20)</p>	<p>教員志望者全員が教職に就くことができるよう指導強化を行うべきとの意見を受けて、平成24年度はキャリアサポートセンターの機能強化体制を維持すると共に、教員採用試験対策プログラムを見直して実施した。 3年生を対象とする教員採用試験対策講座は平成24年度においては10月から3月にかけて実施し、4年生を対象とする同講座は前年度3月から引き続き7月まで実施した。また、個人面接実技指導、集団面接実技指導、模擬授業実技指導については集中的な指導時期を設定しつつ、学生の希望があれば随時対応する体制とした。</p>